



## 優先すべきことは何か

校長 山口 茂

2学期も残りわずかとなりました。年末を迎えた今、本年を振り返ると今年も新型コロナウイルス感染対策に明け暮れた1年であったと痛感しています。しかしながら、そのような中であっても三中生は、学習に励み、制約のある中で様々な活動に打ち込んできました。12月現在では、都内の新規感染者数も減少傾向にあります。新たな変異ウイルスの影響で今後も、基本的な感染対策は、継続していく必要があります。冬休み中も感染防止をしっかりと行い、全校生徒が元気に新年を迎えて欲しいと願っています。

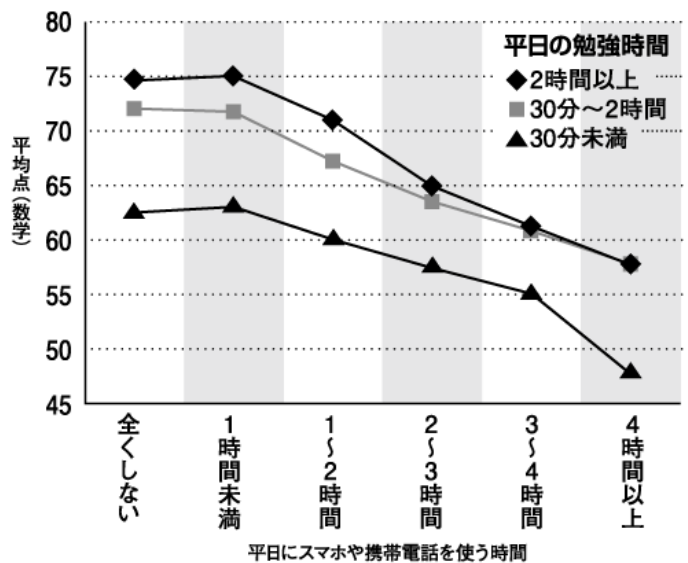
ところで、右の図をご覧ください。

これは、2014年に宮城県仙台市の中学生約2万4千人を対象に行われた「標準学力検査」と「生活・学習状況調査」の結果をもとに分析されたグラフです。このグラフは、平日の自宅学習の時間とスマホ・携帯電話の利用時間が数学の平均点にどのような影響を与えているかを表しています。スマホや携帯電話を1日1時間以上利用すると学習時間に関係なく成績が下がる傾向があるということが見て取れます。また、2時間以上勉強していたとしてもスマホや携帯を4時間以上使っていると学習時間が30分未満であってもスマホ・携帯の利用時間が1時間未満の生徒の方が平均点が高いという結果が出ています。こうした傾向は、国語、理科、社会、英語の4教科でも同様だったそうです。もちろん、スマホや携帯電話を使わなければ、勉強しなくても成績が上がるということではありません。自宅学習をきちんとしている生徒でもスマホ・携帯の使用時間が長ければ、学力が下がる傾向が統計的に表れたということです。自宅で過ごす時間が長くなる冬休みです。スマホや携帯電話を持っている生徒は、中学生として優先すべきことは何かを考えて、1日の使用時間を決めましょう。特に3年生は、入試に向けて最後の追い込みをかける大切な冬休みです。

『今、受験生として何を優先すべきなのか』をしっかりと考え正しい判断をしてください。

2学期終業式まであと10日。本年も保護者、地域、教育委員会他関係機関の皆様、三中へのご支援ご協力、誠にありがとうございました。どうぞ、よいお年をお迎えください。

### スマホや携帯電話を使う時間ごとに見た数学の平均点



宮城県仙台市教育委員会・東北大学加齢医学研究所

## 車いすバスケットボール体験（1年）

11月26日（金）、1学年が車いすバスケットボール体験を行いました。昨年度はコロナ禍で実施できませんでしたので、2年ぶりの開催となりました。

今回は、東京2020パラリンピック競技大会車いすバスケットボール女子日本代表の小田島理恵さんをはじめ5名の方々にお越しいただきました。小田島さんは21歳の時に事故の影響で下半身に障害があり、リハビリ中に体験会で車いすバスケットボールに出会ったとのこと。2017年のアジアオセアニア大会で日本代表に初めて選ばれ、その後数々の国際大会を経験された気迫あふれるプレーとシュート力が持ち味の選手です。

当日は、競技で使用する車椅子10台をお持ちいただき、小田島さんの講演のあと、参加者全員が実際に車いすに乗車して競技を体験しました。多くの生徒にとって初めての車いす体験に加え、パラリンピアンと一緒に車いすバスケットボールを体験するという、大変貴重な機会となりました。



## いいことしようDAY

毎月、生徒会本部が有志を募って奉仕活動を行う「いいことしようDAY」。11月は22日（月）放課後に実施し、北校舎（音楽室、美術室、技術室、家庭科室）の清掃を行いました。当日は部活動を中心に70名ほどの生徒が集まりました。普段の清掃活動では行わない北校舎を自分たちの手できれいにする活動を通して、自分たちの心もきれいに磨くことができました。今後も、一人でも多くの生徒の参加を期待しています。



## お知らせ

○令和3年度学校評価に関する保護者アンケートへの御協力ありがとうございました。回答率は80%でございました。今後、結果を分析し『学校便り2月号』にてお知らせいたします。

○部活動対抗駅伝大会は、例年、新入生保護者説明会終了後に一小6年生を招待して実施しておりましたが、本年度は感染対策のため、1月18日（火）に三中部活のみで実施いたします。保護者の参観もございません。

○12月29日（水）～1月3日（月）の間、学校は年末年始休業のため、日直の教員はおりません。緊急の場合を除き学校への連絡はお控えいただきますよう、御理解・御協力をお願いします。ただし、**生徒及び御家族のPCR受診及び結果情報については、警備員宛に連絡を入れていただきますようお願いいたします。**

	12月	1月	
行事予定	15日（水）私立入試相談	7日（金）冬季休業終	21日（金）～22日（土）
	16日（木）私立入試相談、スクール・パティ	11日（火）始業式、安全指導	1年自然体験教室（スキー教室）
	20日（月）第Ⅲ期時間割始	12日（水）給食始	ハケ岳方面
	23日（木）給食終、大掃除	14日（金）宿泊事前健康相談(1)	24日（月）1年振替休業日
	24日（金）終業式、安全指導	17日（月）避難訓練	25日（火）スクール・パティ
	セーフティ教室②(3)[TOKYOネット教室]	18日（火）新入生保護者説明会	28日（金）生徒委員会、合唱発表会学年リハーサル(1)(2)
	27日（月）冬季休業日始	部活動対抗駅伝大会	31日（月）生徒会朝礼

## < SNS アンケートについて >

「SNS 東京ルール」は平成 27 年に策定されました。毎年内閣府から出されている「青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、平成 22 年頃から中学生もスマートフォンを所持するようになり、平成 25 年には中学生の 4 人に 1 人がスマホを持つようになりました。それに伴い、インターネットに関するトラブルが増えてきたため、「SNS 東京ルール」が策定されました。しかし策定から数年が経過し、自撮り被害やメッセージアプリでの悪口・仲間はずれなど新たな課題が出てきたため、平成 31 年に改訂版「SNS 東京ルール」が出されました。

本校でも、令和元年に「SNS 三中ルール」の見直しを行い、ご家庭の協力をいただきながら、啓発に努めてきました。また、長期休業前には、携帯電話等に振り回されず、有意義な休業期間を過ごせるよう、指導をしてきました。

そこでこのたび、本校の現状をご理解いただくために、夏休みの宿題で実施した SNS アンケートの結果をお知らせします。

### SNS アンケート結果 (R3. 8 月実施)

	今回	前回 (R2.8)	ポイント比率
三中生の携帯所持率	89.4%	89.5%	- 0.1pt
フィルタリング率	79.1%	71.6%	+ 7.5pt
家庭ルール作成率	96.8%	59.9%	+36.9pt

### SNS 三中ルールの現状

\*アンケートのAよくあてはまるとBややあてはまるを答えた割合

	今回	前回	ポイント比率
①大切なことは直接話すように心がける。	95.4%	93.7%	+ 1.7pt
②必ずフィルタリングを付け、使用時間を家族で話し合って使う。	77.5%	73.9%	+ 3.6pt
③勉強中や食事中は手元に置かず、必ず家庭でルールを決めて使用する。	85.7%	88.3%	- 2.6pt
④個人情報や載せたり、知らない人と関わったりしない。	95.1%	90.7%	+ 4.4pt
⑤SNSより家族との時間をとろう。	90.0%	91.6%	- 1.6pt

- ①本校の 89.4% の生徒が、携帯電話 (スマートフォン) を所持している。また、SNS を利用できる機種等を使用している割合は 94.4% にあがる。
- ②SNS を利用できる機種等を使用している生徒の 79.1% がフィルタリングをしている。
- ③SNS 家庭ルールが決まっている割合は、全体の 96.8%。

アンケートの結果から、特に家庭ルールは夏休みまでに決めていただいた御家庭が多く、保護者の皆様の御協力が大きいと感じました。私たち大人が、「子供の安全を守ろう」という姿勢は、お子様にも響くと思います。また、家庭内で約束ごとを決める話し合いは、親子の会話を促進するきっかけにもつながります。親子でコミュニケーションを取りながら、子供自身に自分の身を守る方法を教えたいものです。

家庭ルールについては、回答数が多かったものをあげています。

家庭ルール	回答数	家庭ルール	回答数
21時以降は使わない	20	個人情報を載せない	26
22時以降は使わない	21	知らない人とは関わらない	21
23時以降は使わない	12	アプリダウンロードは許可をもらう	19
食事中は使わない	63	リビングで使う(自室へ持ちこまない)	23
勉強中は使わない	27	使用は1日1時間まで	12

アプリはLINE（トーク）使用率が94.3%、次いでインスタグラム39.3%、TikTok37.5%、ツイッター26.4%、LINE（タイムライン）22.1%となりました。

SNSアプリの中には、東日本大震災の教訓を生かすという崇高な目的で作られたものもあるようです。しかし、現状は多くの人々が利用する便利なアプリとなっており、便利な一方で、SNSアプリによるトラブルが中学生の間でも頻繁に起こっています。よくあるトラブルは、ステータスメッセージ上での悪口、グループ内での悪口、グループ外し、スクリーンショットの拡散、過度なスタンプ連投などです。「まさか、うちの子が…」となる前に、家族でSNS利用について今一度話し合い、確認することが大切です。また、状況によっては家庭ルールの見直しが必要になります。大人が買い与えたスマートフォンやタブレット等で、子供が楽しく悲しい思いをすることを避けるためにも、引き続き御家庭の御理解・御協力をお願いいたします。

（生活指導主任 相原）

## SNS三中ルール R1.12.25～

1. 大切なことは直接話す。
2. 必ずフィルタリングを付け、使用時間を家族で話し合って使う。
3. 勉強中や食事中は手元に置かず、必ず家庭でルールを決めて使用する。
4. 個人情報を載せたり、知らない人と関わったりしない。
5. SNSより家族との時間をとろう。